

エジプトのお米は日本米！？

在エジプト日本国大使館

国民食と言われるコシャリをはじめとして、エジプトでは古くから一般的にお米が食されています。そして、そのお米のほとんどが日本由来の短粒種ヤバニ米（ジャポニカ米）を元に品種改良が行われ、エジプトに根付いたものです。

今から約 100 年前の 1917 年、エジプト政府は国内の人口増大を見越して、米を生産奨励品目に指定し、生産拡大に向けて品種改良に着手しました。その際、スペイン、イタリア、アメリカ、中国、インド等世界各国から約 250 種の米を集め、比較検討した結果、最もエジプトの気候に適し、生産性が高いとして選ばれたのが日本由来のヤバニ米です。

その後も品種改良が重ねられ、さらに 1980 年代から 1990 年代にかけて行われた JICA による稲作の機械化や精米処理に対する支援等もあり、エジプトの米生産は大きく増大し、今では日本由来のお米がエジプト人の間で広く親しまれています。



エジプトの稲作風景（田植え）



エジプトの稲作風景（稲刈り）



エジプトの国民食「コシャリ」

（了）